



冬の日差しの差し込む中、久しぶりに神戸市西区にある自然に囲まれたお宅へお伺いしました。リビングには奥様手作りのカーテンを通してやわらかな光が、差し込んでいました。お引渡しから1年半が経ち、杉のフローリングは真新しさが抜け、暖かみのある味わいが出てきました。お客様との出会いは、ひょうご木のすまい協議会主催の家づくりセミナーにご参加頂いたのがきっかけでした。木のすまいの話を熱心に勉強され、潮芦屋浜にあるモデルハウスにも来場頂きました。そこでは、杉のフローリングのお手入れ方法などを、実際に体験して頂きました。兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度を利用して頂きました。

木のすまい仕様の家 「味わいのある家」



チンは、使い勝手がよく、既製品にはない味わいがありました。断熱材は新聞紙をリサイクルした、調湿効果のあるセルロースファイバー(木質繊維)を充填したデコスドライ工法。以前、お住まいだった集合住宅では結露がひどかったのが、新しいすまいでは、結露しないそうです。庭に花や木を植えられたり、出来る限り自分たちでお手入れをするのが加わり、杉の床で気持ちよさそうに昼寝をしていました。

あれから1年半が過ぎ、木のすまいを大切にされ、楽しく過ごされているのが伝わりました。いつまでもご夫婦+子猫が健康で仲良く暮らせることを願っております。

【兵庫県林務課からのお知らせ】

県産木材利用融資がさらに使い易くなりました。

従来の融資条件に加え、環境配慮型住宅であれば、融資限度額が拡充されます。

- 新築・増改築
最高融資額：2,700万円(返済期間25年以内)
 - リフォーム
最高融資額：900万円(返済期間10年以内)
- ※いずれも融資金利は平成22年度下半期1.2%固定。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

兵庫県 木造住宅ローン

ひょうご木のすまい協議会
会長 三渡 圭介

壁の中が見えないこと最大のリスク。

壁の中(つまり柱と柱の間)は断熱材、コンセントボックス、配線や配管、また耐震用の筋かいの木材や金物と、いろいろな部材が混在し、とても複雑になっています。いまの家は壁の中を見ることができないため、この複雑さはリスクとも直結しているともいえるでしょう。

壁(特に外壁)の中で起りうる最大のリスクはやはり水の問題です。考えられる原因としては、①雨の進入、②配管からの漏水、③結露などが挙げられますが、壁の中に水が入ると木材を腐らせるだけでなく、断熱材によっては水分の重みで沈んでしまい効かなくなる場合もできます。どれも重大な問題ですが、もともと頻繁に起こっているのが結露です。冬などに壁の中と部屋の間の温度に差ができることで起きる現象で、窓ガラスに水滴が付くのと同じ原理です。結露を防ぐ対策として室内側はできる限り換気(空気を滞留させない)をすること。壁の中は湿気を溜め込まない(吸放出する)断熱材に入れ替えたり、外壁に通気層を設けることで壁体内の結露を軽減させることができます。ただ、壁を工事することは容易ではないため、やはり家づくりの計画の中で考慮しておきたい問題といえます。

— ひょうご木のすまい協議会のイベントご案内 —

●ひょうごの木で家を建てる『家づくりセミナー』(第10期)

兵庫県産の木材を利用した家づくりを学ぶ「家づくりセミナー」を開催します。再生産可能で産地や性能・品質が明確な県産木材を活用した住まいライフスタイルを提供します。計5回の講座を通し、木の家の良さや家づくりを進めていく上でのポイントを図解や映像を活用し解り易く解説します。

- ・開催日
【第1回】H23年 2月26日(土)
【第2回】H23年 3月26日(土)
【第3回】H23年 4月23日(土)
【第4回】H23年 5月21日(土)
【第5回】H23年 6月18日(土)
- ・時間 13:00~15:30
- ・費用 1,000円/回
- ・場所 神戸 兵庫県民会館

※詳しくはお問合せ下さい。



小冊子 「キノコイエノコ ひょうご2010」

「ひょうごの木を使った木の家」について、ユーザーの話や兵庫県林務課の話などが、掲載されております。ひょうご木のすまい協議会メンバーの紹介の「頼れる工務店、見てある記」では、より良くひょうご木のすまい協議会を理解していただく内容となっております。

※小冊子「キノコイエノコ」ご希望の方は事務局まで～送り先を事務局までお知らせ下さい。

